

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公表番号】特表2013-526075(P2013-526075A)

【公表日】平成25年6月20日(2013.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-032

【出願番号】特願2013-508593(P2013-508593)

【国際特許分類】

H 01 L 33/58 (2010.01)

【F I】

H 01 L 33/00 4 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月24日(2014.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

発光上面を有するLEDダイと、

前記LEDダイに接続された電極及びボディを有し、前記LEDダイを含むパッケージと、

前記ボディに搭載された、丸みを帯びた方形レンズと、を有し、

前記丸みを帯びた方形レンズは、前記上面に平行な平面において、丸みを帯びた角を有し、

前記丸みを帯びた方形レンズは、前記丸みを帯びた方形レンズの対角線方向の断面に沿って実質的に半円状の面を有し、前記丸みを帯びた方形レンズの前記対角線方向の断面は前記対角線方向の断面の幅よりも小さい第1の幅を有し、前記実質的に半円状の面は前記LEDダイの前記上面の実質的に中心点上に最大高さHを有し、

前記丸みを帯びた方形レンズは、前記丸みを帯びた方形レンズを二分する前記丸みを帯びた方形レンズの幅寸法に沿って半円状でない弾丸形状の面を有し、前記弾丸形状の面は前記第1の幅よりも小さい第2の幅を有し、前記弾丸形状の面は前記LEDダイの前記上面に前記実質的に半円状の面が有する前記最大高さHと一致する最大高さHを有し、

前記丸みを帯びた方形レンズの表面は、前記実質的に半円状の面と前記弾丸形状の面との間で、前記LEDダイの前記上面において尖った角を有することなく滑らかに移行しており、

前記丸みを帯びた方形レンズは、前記LEDダイが活性化されると、実質的にランバートな光放射パターンをつくる、LED装置。